

Klub Zukunft 春の散策会 (当尾の里の石仏を巡る)

- ① 日時 : 2024年3月30日(土) 10:00~16:30頃
② 集合 : JR加茂駅 東口 9時40分集合 9:44岩船寺行乗車
③ スケジュール

所要時間 約6.5時間 歩く距離 約10km

コース :

JR 加茂駅(9:44)~岩船寺前(10:00)~彌勒摩崖仏~四面地藏石仏~笑い仏~唐臼の壺~あたご灯籠~昼食~浄瑠璃寺~地藏三尊摩崖仏~阿弥陀如来石仏~大門石仏群~加茂青少年山の家~JR加茂駅

* 2 ページ目のコース概要をご参照ください。

<加茂駅のアクセス 例>

- ※ ・大阪駅 8:27 → 8:44 天王寺駅 8:45 → 9:19 JR 奈良駅 9:20 → 9:34 JR 加茂駅
(大和路快速 加茂行き)
※ ・加茂山の家バス停 14:11 → 14:36 JR 加茂駅 14:43 → 15:52 大阪駅
・加茂山の家バス停 15:11 → 15:36 JR 加茂駅 15:43 → 16:52 大阪駅

- ④ 参加費 500 円(傷害保険代として)
⑤ 服装・持ち物
・ハイキングが出来る服装
・昼食
・飲み物
⑥ 費用

JR 大阪駅~JR 加茂駅	片道	990 円
JR 加茂駅~岩船寺	バス 片道	300 円
加茂山の家バス停~JR 加茂駅	バス 片道	400 円
浄瑠璃寺拝観料		400 円
岩船寺拝観料		500 円

- ⑦ 実施するしないの判断
前日 PM6 時の NHK の天気予報で目的地の降水確率が 50%以上の場合は中止とします。
- ⑧ 参加申込み
申込み締め切り : 2024年3月10日(日)
※参加希望者は傷害保険加入の為、参加する家族・知人全員の氏名、住所、電話番号、生年月日情報をご連絡願います。
尚、このデータは他には一切使用いたしません。
- ⑨担当 今中

■コース概要

当尾の里は石仏の宝庫。あぜ道の脇、舗装路からちょっと奥まったところ、樹々のしげみの中など、至るところに美しい石仏がたたずんでいる。JR 加茂駅から木津川市コミュニティーバスに乗り、

岩船寺バス停で下車。岩船寺から浄瑠璃寺までは秀作が目白押し。県道をゆっくり下って、彌勒摩崖仏を右に折れて、四面地藏石仏を過ぎて、笑い仏から下り、唐臼の壺のある五差路にでる。右へ折れるとあたご灯籠までゆっくりとした下り。左折をしてすぐ右へ折れば、消防センターの裏に阿弥陀如来石造があり、もう少し下ると大門石仏群が見える。そこから引き返し。浄瑠璃寺へと向かう。浄土を形にしたといわれる、池を挟んだ本堂と三重塔の浄土式庭園を巡り、本堂の九体阿弥陀像を見学。浄瑠璃寺から西小バス停までは緩い下りを歩く。

■浄瑠璃寺

市域の東南部、奈良県との県境付近は、古くから小田原と呼ばれ、平安時代の後期には多くの修行僧が集まり、丘陵地の谷や峯に庵を営み仏教信仰にいそしんでいました。

小田原は大きく東西に二分され、東は随願寺(廃寺)を中心に子院や庵が集まり、西では浄瑠璃寺が中心で、西小田原ともいいます。寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えているのですが、浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記事」（重要文化財）の記すところは、永承二年(1047)に、当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えています。浄瑠璃寺の名は、東方浄瑠璃浄土の主、薬師瑠璃光如来に因んだものです。その後、平安時代末期になって九体阿弥陀仏を安置する阿弥陀堂を建立し、庭園を整備して今日の姿になりました。

■岩船寺

岩船寺は、京都府と奈良県の境にあるかつては南山城当尾（とうの）村と呼ばれ、さらにそれ以前には小田原と称される地域に位置する。山号は「高雄山（こうゆうざん）」院号は「報恩院」である。ここは平安遷都までは「山背国」と書かれ、奈良・平城京が文化の中心であった時代には、まさに山々の背後にあたる場所であった。それ故に南都仏教の影響を強く受けており、平城京の外郭浄土として興福寺や東大寺にいた高僧や修行僧の隠棲の地となり、真の仏教信仰にそそがれた地域であった。また「当尾（とうの）」の地名は、この地に多くの寺院が建立され三重塔・十三重石塔・五輪石塔などの舍利塔が尾根をなしていたことから「塔尾」と呼ばれたことによる。